



地域でおもしろいことをしている  
北区の団体や人に会いに行くよ！  
今回は特別編！ぼっぴいと一緒<sup>おかもと</sup>に国際情報  
高等学校の生徒が取材してくれました！



▲国際情報高等学校の皆さん、岡本センター長、先生でパシャリ

## 新川まちづくりセンター

新川まちづくりセンターは、昨年10月から「新川まちづくり協議会」が自主運営しています。地域のことを最もよく知る地域住民の手で運営することによって、より魅力あるまちづくりを目指している「まちセン」です。

今回は、センター長である岡本しのぶ<sup>おかもと</sup>さんに、地域活動の魅力についてお話を伺いました。インタビュアーは新川地区にある北海道札幌国際情報高等学校(以下、SIT<sup>\*</sup>)から、職場インターンにきてくれた1年生の3人です！



「センター長として過ごした1年はどうでしたか？」  
住民票の発行など、慣れない事務は大変でしたが、「まちづくり」といった点では、肩書が増えても、新川地区をより良くしたいという気持ちで活動することは変わりません。私は以前から連合町内会の交通安全部や防犯パトロール隊など、地域活動に関わってきましたから、地域の皆さんも変わらさず私を「しのぶちゃん」と呼びます。

「新川地区のアピールポイントを教えてください。」  
新川地区の宝、新川さくら並木ですね。地域住民による植樹から始まり、今では地域全体で守っているかけがえのない存在です。  
今年是全道各地から2千人以上が訪れ、ライトアップされた桜を楽しんだ「新川夜ざくら」をはじめ、新川さくら並木にちなんだイベントがたくさんあり、桜並木を中心に地域交流が活発です。  
そうそう、結婚写真や紀寿(100歳)記念写真を桜の下で撮影した方もいたんですよ！



▲岡本センター長

「子どもたちはどんな地域活動に参加してくれていますか？」  
例えば、通常は地域の大人が日常生活の中で子どもたちを見守る「ながら見守り」ですが、新川地区では、通学中の子どもたちに高齢者の見守りをお願いしています。子どもたちの気付きも、地域を守ることに繋がります。  
「私たちの通うSITと関わる活動はありますか？」  
地元のスーパーの駐車場で行わ



▲国際文化科 荒井さん

地域の方が私のためにおにぎりを握ってまちづくりセンターに応援に来てくれたり、地域の温かさを感じた1年でもありましたね。  
「地域活動の魅力を教えてください。」  
大人も子どもも、活動を通して自分の住む地域に溶け込めることです。そして、活動を通して生まれる「困っている人がいたら助ける」「地域のことを率先してやる」という気持ちが、いろいろな人との出会いや地域の活性化につながることで



▲グローバルビジネス科 木村さん

「今後の抱負を教えてください。」  
町内会も高齢化が進んでいるので、三世代交流をもっと進め、子どもたちの意見を地域活動に反映させていきたいです。そして、「困った新川まちセンに相談」と子どもたちに思ってもらえるように、地域活動が子どもたちの交流の場になってほしいと思います。  
取材に来てくれた皆さんにも、大人にはない視点からどんな地域に対して提案をしてほしいです！ぜひまた「まちセン」に来てね。



▲グローバルビジネス科 前鼻さん

れるSITバンド(吹奏楽部)の「シンカワジモトライブ」には、まちづくりセンターも協力してるんですよ！高校生の頑張っている姿に心を打たれます。今年は10月15日(日)に行われて、大盛況でしたね！